

2013年

7月▶8月の星空



この図は

7/ 1 ▶ 22時(夜10時)

7/15 ▶ 21時(夜 9時)

8/ 1 ▶ 20時(夜 8時)

8/15 ▶ 19時(夜 7時)

頃の星空です。

(惑星の位置は8月1日)

○1等星

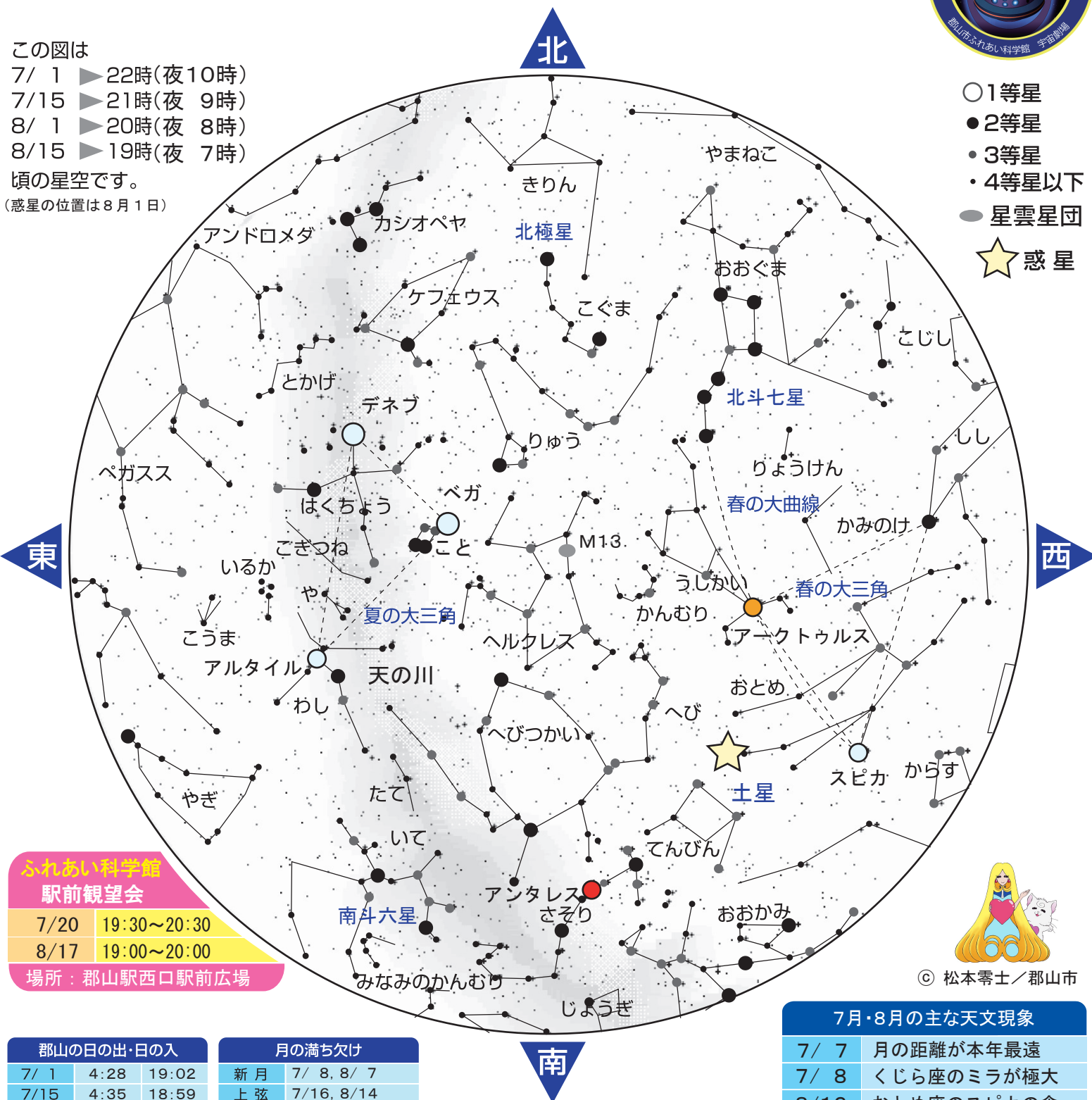
●2等星

●3等星

●4等星以下

●星雲星団

★惑星



ふれあい科学館

駅前観望会

7/20 19:30~20:30

8/17 19:00~20:00

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士／郡山市

7月・8月の主な天文現象

7/ 7	月の距離が本年最遠
7/ 8	くじら座のミラが極大
8/12	おとめ座のスピカの食
8/12~13	ペルセウス座流星群極大

※上弦、下弦は半月です。

春の星座たちも西に傾いていき、この時季の主役は夏の星座になります。夏の星の代表と言えば、なんと言っても「夏の三大角」を形作る、ベガ・アルタイル・デネブです。ベガは七夕の織姫星、アルタイルは彦星にあたります。その間を通り抜けるように天の川が流れています。デネブがあるはくちょう座のくちばしのところにはアルビレオという二重星があります。望遠鏡や双眼鏡で見ると黄色と青の星が二つ並んでいるように見え、二色の対比がとても美しい星です。

頭の上近くには、アルファベットの「H」のような形をしたヘルクレス座があります。ヘルクレス座には「M13」という球状星団があります。本来、この名前の「M」はカタログをまとめたシャルル・メシエの「メシエ」を意味するのですが、望遠鏡で見た、この星団の姿がマリモのように見えることから、「M(マリモ)13(サーティーン)」と呼ぶ天文ファンもいるようです。

今年はペルセウス座流星群が8月12~13日に極大をむかえます。この日は月も出ていますが、ピークをむかえる夜半過ぎには沈んでいきますので、観察しやすくなります。ぜひ、お楽しみください！

夏の夜空には他にも一等星「アンタレス」を持つさそり座や特徴的な形の星座がたくさんあります。流星群を見ながら、のんびりと夏の星座探しをしてみてください！

